



第 10 号

発行所 館民 田代村公民館  
電話 一 番  
印刷所 所  
〒6647 田代村本町  
南日本新聞社東部支社  
電話 98, 98, 136 番

# 昭和二十七年の新春を迎えて

村長 上田 政吉

歳華茲に改り一九五二年の新春を迎へまして誠に御目出度う御座います。申す迄もなく本年は過去六ヶ年間占領治下にあつた我が国が自主独立し得る講和発効の年でありまして、例年に比し一層希望に充ちた奮闘努力の年だろうと思ひます。

## 一、産業部面

一昨年産業振興五ヶ年計画を樹立し昨年度より愈々実行の段階に入つたのですが村民各位の心からなる御協力によつて大體に於て計画通り遂行された様であります。即ち本村に於ける換金作物の王である煙草作は目標の一千万円を突破するし、馬匹は郡畜産品評会に於て優秀なる成績を獲得するし、甘藷作は予想外の増収があり、其他茶葉、林業、畜産等著々其実績を挙げ、尙各種の奨励施策が計画の線にそつて漸次軌道に乗つて参つた様です。只だ水陸稲、雑穀等が時季はづれの台風や虫害等で甚大な被害があつたのは遺憾とする所であります。

## 二、交通部面

道路としては大根占一内之浦線、上原一新田線、接続線の工事竣工し村内の循環道路が一先づ完成しバスやトラ

ックの運行が自由に出来る様になりました。本年度は新田一内之牧線、早瀬一瀬戸口線の開き計画を立て、居ります。

## 三、教育部面

大原中学校校舎の新築、花瀬分教場の増築工事も終了し本年は田代中学校の増築、高等学校の移転改築等相当多額の経費を要しますが、本村百年の大計である教育の重大性を痛感し苦しきを忍んで校舎の整備をしようと思ひます。

## 四、納税貯蓄

昨年度村税調定額に對し四六%の滞納額二八五万円と言ふ極めて不良な成績であります。依存財源たる平衡交付金の増額がなかつたなら我村の自治行政は中止せなくてはならなかつたのです。

# 一九五二年を反省して

助役 湯ノ谷 米吉

「光陰矢の如し」は古い言葉であるが終戦後既に六年お互に敗戦苦難の生活をつゞけてきたのであるが、一九五一年も夢の様に過ぎ去り新しい昭和二十七年の新春を迎え、しかも講和条約締結第一歩目を踏み出すことになりまして希望輝く初日を迎へ新生日本の誕生に喜びに堪えません。

過ぎし一九五一年を静かに反省して見るに我が村の歩みは堅実で村造の基盤の上に諸事進展しているに信ずるのです。

正月は簡素に行いましょう  
一、正月三日間は国旗を掲揚すること  
二、門松は枝松に限ること  
三、料理は二品以内に止めること  
四、回礼は親子兄弟近親間とし男三日女は五日以内にすませ、献杯、ナンコは自粛すること  
五、贈答品は親子間のみとし、其の他は止めること  
六、村では年始会を開き、一般回礼は廃止する

国税課税の成績は比較的よいのに独り村税支けが斯く不成績は果して何に原因するのでしよう。国民の義務を果たさずして新年を迎へた村民が多数あることはまことに遺憾の極みであります。本年は貯蓄の奨励特に納税準備貯蓄組合の活動促進、納税思想の普及宣伝に努め度いと思ひます。

## 五、其他

公民館に専任主事を置き社会教育部面の充実強化を計り万般の施策著々進捗しつゝありますが、本年度は其殿堂である公民館建築を目前に居ります。其他は紙面の都合で省略致しますが、親愛なる村民各位よ、今年こそは各家庭に順応した確然たる計画を樹立し、目標を定めて勇往邁進し様ではありませんか。

五ヶ年計画の推進を想う時、既に之等幾多の問題を積み込み発車したのであるが其の根本をなす機関車の働き、潤滑油の注入極めて適切に行われていゝと思はれる。昨年四月行われた県会議員選挙に我が郷土から始めて立候補された柴立芳文氏が村民一致結束の下に見事当選の栄を得、尙又村長選挙には現上田村長が村民の絶対信頼を得て無投票当選に決定、本村進展の堅固なる基盤は定り雄々しく我が村は新しく出發の鐘を鳴らしたのである。其後幾多の難関難問に遭遇したのであるが、経験深い鈴議長を中心に賢明な議員諸公

にせよ、本村では尤も災害の少い換金作物であることは申すまでもないので本村産業五ヶ年計画は次々に実現をみつつありますが、毎年の災害には人力の如何にもできずせつたかの計画も一夜にして倒れる状況である。ルース台風の被害も洵に甚大であつたが禍を転じて福となすの氣で七転八起の勇猛心を振起し災害の復旧対策を行い本村産業の発展を図るより外ないのである。

更に交通文化の面に於ても多年待望して来た肝属中央線もいよいよ今年度には貫通をみる運びになつて居ります。尙田代船問の奥地林道開整によつては柴立果議の強力なる御力によつてこれに至つて居るので多年の懸案が解決され千古不伐の森林資源が開発される日の近いことは洵に喜びにたえない。中央線並に横断線の完成により吾が村の交通文化は更に力強いものがある。

新年を迎へ村民の積極的意気を振作し住みよい豊かな郷土田代建設に邁進したいものです。かつては納税優良村として幾度か表彰もされた吾が村の村税納入成績は現在他町村に比し郡内でも最下位にあることは甚だ遺憾である納税完納あつて村の積極的な施設経営もできるのである。災害復興も新設もまず納税からだ。お互に新年度には此の納税思想を再検討して実績を挙げ、名実共に裕福な村にし余裕ある家庭を作ることに村民の総力を結集しようではありませんか。而して公正明らかな村政の運営に努めたいと、茲に昨年を反省し、更に將來の田代村理想郷へ一歩邁進すべく、思ひつきのまゝを述べて反省し村民の御協力を乞ふ次第であります。

次に本村産業五ヶ年計画の実施については乏しいながらもこれを重点にして産業経済費の逐次予算計上を見督励しつゝあるが、昨年度は煙草耕作組合では賠償金目標額若干万円を突破し換金作物として本村経済をうるほし新年度は更に以上の目標を進められていゝことは慶びにたえない。次は畜産奨励に於ても年々借付牛の増加を見つゝあり郡畜産品評会では予期せざる馬の優勝旗を獲得したことはお互に本村畜産奨励の上に有難いことであつた。尙牛馬は勿論山羊、綿羊の導入飼育、牛の人工授精所の設置、いまだ他町村に見られない施設も行われ順調に飼育され將來を樂しんでいる所です。名茶田代茶は本村特産品として年々増加の一途にあり工場数も増加し益々將來性のある産業である。お茶にせよ、畜産

にせよ、本村では尤も災害の少い換金作物であることは申すまでもないので本村産業五ヶ年計画は次々に実現をみつつありますが、毎年の災害には人力の如何にもできずせつたかの計画も一夜にして倒れる状況である。ルース台風の被害も洵に甚大であつたが禍を転じて福となすの氣で七転八起の勇猛心を振起し災害の復旧対策を行い本村産業の発展を図るより外ないのである。

更に交通文化の面に於ても多年待望して来た肝属中央線もいよいよ今年度には貫通をみる運びになつて居ります。尙田代船問の奥地林道開整によつては柴立果議の強力なる御力によつてこれに至つて居るので多年の懸案が解決され千古不伐の森林資源が開発される日の近いことは洵に喜びにたえない。中央線並に横断線の完成により吾が村の交通文化は更に力強いものがある。

新年を迎へ村民の積極的意気を振作し住みよい豊かな郷土田代建設に邁進したいものです。かつては納税優良村として幾度か表彰もされた吾が村の村税納入成績は現在他町村に比し郡内でも最下位にあることは甚だ遺憾である納税完納あつて村の積極的な施設経営もできるのである。災害復興も新設もまず納税からだ。お互に新年度には此の納税思想を再検討して実績を挙げ、名実共に裕福な村にし余裕ある家庭を作ることに村民の総力を結集しようではありませんか。而して公正明らかな村政の運営に努めたいと、茲に昨年を反省し、更に將來の田代村理想郷へ一歩邁進すべく、思ひつきのまゝを述べて反省し村民の御協力を乞ふ次第であります。

次に本村産業五ヶ年計画の実施については乏しいながらもこれを重点にして産業経済費の逐次予算計上を見督励しつゝあるが、昨年度は煙草耕作組合では賠償金目標額若干万円を突破し換金作物として本村経済をうるほし新年度は更に以上の目標を進められていゝことは慶びにたえない。次は畜産奨励に於ても年々借付牛の増加を見つゝあり郡畜産品評会では予期せざる馬の優勝旗を獲得したことはお互に本村畜産奨励の上に有難いことであつた。尙牛馬は勿論山羊、綿羊の導入飼育、牛の人工授精所の設置、いまだ他町村に見られない施設も行われ順調に飼育され將來を樂しんでいる所です。名茶田代茶は本村特産品として年々増加の一途にあり工場数も増加し益々將來性のある産業である。お茶にせよ、畜産

## 田代村十大ニュースは？

- 一、ルース台風の來襲
- 二、柴立芳文氏県議當選
- 三、葉煙草代金の目標額若干万円突破
- 四、大原中学校新築落成
- 五、田代郵便局の再建落成
- 六、和牛人工授精所の発足
- 七、田代村農業協同組合長の交代
- 八、肝属郡畜産共進会で田代馬優勝
- 九、長野県産山羊、綿羊大量導入飼育
- 十、田代村公民館の設置

# 新春を壽ぐ 1952年正月元旦

田代村役場	田代村公民館	田代村農業委員会	田代郵便局	根占高等学校田代分校	田代中学校	田代中学校大原分校	田代小学校	大原小学校	田代村社会教育委員会
村長 上田 政吉	館長 上田 政吉	委員長 岩下 峻	局長 篠原 亮	主事 水枝谷 清武	校長 名ヶ迫 廣	主任 中野 耕逸	校長 税所 篤美	校長 肥後 貢	委員長 小牧 昌男
助役 湯ノ谷 米吉	副議長 上原 誠二	外職員 一 同	外職員 一 同	外職員 一 同	外職員 一 同	外職員 一 同	外職員 一 同	外職員 一 同	外職員 一 同
収入役 西川 市藏	外職員 一 同								

# 産業五ヶ年計画 二年目を顧みて

産業五ヶ年計画二年目昭和二十六年を送るに当り如何なる歩みをなしたか如何なる結果をもたらしたか各部門別に反省して新年度への参考をしたいと思います。

## 一、食糧の増産

二十六年産米、雑穀は七、八月の早魃もあつたが順調なる作柄を示し本年は計画通りの成績を得られると思つていた処十月十四日のルース台風により悲惨なる状況となり計画通りの収穫は出来なかつたのである。然し乍ら自然の災害は止むを得ないとして増産対策として基礎的な施策、農家の意欲は前年に比し向上しつゝあることを見逃せないと思つた。先ず第一に土地改良としての水田客土、本年一月から三月迄の間に二反歩を実施し畑の再開墾も四八反歩が行われ又春蒔ルビー一五町歩春蒔レンゲも約三町歩実施し過去に於て顧みられなかつた地方の維持増進面に力を注ぎ其の結果米雑穀にしても作柄の成績は良く、特に甘藷の反収に於ては最も好成績を示し災害にも禍されず計画通りの成績を示し農協製粉工場は消化の為屋敷の別なく努力しつゝ、本年は昨年度に増し土地改良、自給肥料の増産に力を注ぎ又耕種改善に努力し食糧の増産を計らなければならぬ。

## 二、畜産

畜産を強力に推進する為には技術員を設置し畜産面に多大の功績を収めつつある。無畜農家解消の爲には昨年引続き一月三頭、七月四頭、十月三頭の貸付をなしたが依然として本年牛馬頭数は増加せず昨年八月一日現在本年八月一日現在を比較して見るに牛で五頭、馬で五頭の増加を示している。山々々々問題である。我々農家の食生活改善の目的を以て長野県より山羊四頭を購入し内二十頭は村有として貸付をなした。山羊と同時に衣料対策として綿羊を試験飼育して四頭を購入したが成功するならば本年度は一〇〇頭位導入して村民が年間衣料品代として二千円以上を村外へ支出している其の一部分の補ひにしたい。和牛の生産向上を目的として人工授精所を設置、九月十九日より開始し十二月一日現在一三六頭の種付をなし好成績を示している。十月二十一日の郡畜産共進会に於て田代村の馬七頭を出場せしめ優勝旗を獲得したのである。これを機会に一段畜産振興に努力しなければならぬ。田代村主催畜産品評会は十一月八日開催二〇〇頭の出場で例年ない盛況を極め年々質の向上しつゝある事は喜ばしい次第である。本年度の仔牛の市場出頭数は一九〇

頭で四百五十万円程度の値上価格となつた頭数は計画より低いが価格は計画の参百六拾九万円を超え好成績を示している。新年度は頭数の確保と飼料管理に一段努力しなければならぬ。

新植面積は計画八町歩の処を十四町歩余りの好成绩であつたが早魃の爲約三町歩は枯死したが計画以上の面積は確保されている。製造技術の向上を目的とし七月六日平石工場で製造競技会を開催し七町歩出頭者多量盛況を極め八月二十七日には大原川前氏の茶園で摘採競技会を開催し出場者多量技術の向上茶業振興に寄与する処が大きかつた。茶工場の設置は二年目は二工場となつて居るが本年度は四工場出来て来年度分出来た事になり其の結果生葉の競争買いが始まり一番茶は一〇〇円、二番茶は六〇円、三番茶は八〇円に予想外の成績を示し、製品の製造競争もなり前年より優秀な製品が出来た様になつた。然し注意しなければならない事は業者の生葉競争の爲良い品も悪い品も価格差がつかず自然大きな差になつてから赤茎の混入した生葉を販売する人が見え始めた事、今後之を是正し良い生葉は高く悪い生葉は安く買取りする様しなければ田代茶は自然競争が出来なくなる事である。茶業問題で新年度へ持越される問題は此の問題が一つである。

又地主の熱意の爲計画を上回る植林が出来た。新年度は荒地として放棄されている土地は非常に少なくなつて来たが未だ竹藪の撤去置かれて居る処も相当地の爲之が解消し努力の上廻る成績を示した。植林面積は計画を上廻る成績を示したが樹種別に見ると杉の植林が苗木不足の爲計画面積に達しなかつた。伐採面積に於ては原木価格の暴騰と森林法改正に基き思惑に依り相当の亂伐が行われたのであるが、本年度はこの過伐分に対して完全に植林しなければならぬ。椎茸栽培も約一〇〇〇石の原木伐採をなし計画以上の成績を示している。

振興しなければならぬ。特用作物としては煙草が順調に進んでいるのみでラミー、養蚕は余り村民の振りが良く希望が出て来つゝある様である。養蚕、ラミーにしても今後益々振興し農業経営の中に折込み多角経営化しなければならぬ。

六、結 び  
五ヶ年計画二年目は完全とは言へなかつたが先ず順調な歩みをなした事もある。計画の出来ていない人もある様である。五ヶ年計画は村のものであるから誤解し各人は村が補助金をくれるからやろう、補助金をくれぬから一年位待つてやろうと言つた様な補助金目当の氣持の人も相当ある様である。新年度こそ我が家の農業五ヶ年計画を全村民樹立着々推進しなければならぬ。

## 三、茶業振興

本年度の造林は苗木が充分入手出来て昭和27年度村税納期一覽表

四、林 業  
本年度の造林は苗木が充分入手出来て昭和27年度村税納期一覽表

五、特用作物  
煙草に於ては好成绩を示し待望の若干万円獲得が出来た。林産物を除けば本村に若干万円以上の村外からの現金収入は多いのである。換金作物として今後益々

六、結 び  
五ヶ年計画二年目は完全とは言へなかつたが先ず順調な歩みをなした事もある。計画の出来ていない人もある様である。五ヶ年計画は村のものであるから誤解し各人は村が補助金をくれるからやろう、補助金をくれぬから一年位待つてやろうと言つた様な補助金目当の氣持の人も相当ある様である。新年度こそ我が家の農業五ヶ年計画を全村民樹立着々推進しなければならぬ。

七、結 び  
五ヶ年計画二年目は完全とは言へなかつたが先ず順調な歩みをなした事もある。計画の出来ていない人もある様である。五ヶ年計画は村のものであるから誤解し各人は村が補助金をくれるからやろう、補助金をくれぬから一年位待つてやろうと言つた様な補助金目当の氣持の人も相当ある様である。新年度こそ我が家の農業五ヶ年計画を全村民樹立着々推進しなければならぬ。

八、結 び  
五ヶ年計画二年目は完全とは言へなかつたが先ず順調な歩みをなした事もある。計画の出来ていない人もある様である。五ヶ年計画は村のものであるから誤解し各人は村が補助金をくれるからやろう、補助金をくれぬから一年位待つてやろうと言つた様な補助金目当の氣持の人も相当ある様である。新年度こそ我が家の農業五ヶ年計画を全村民樹立着々推進しなければならぬ。

## 統計的に研究した 田代村の貧乏の所以

現在田代村の貧乏打開策として各方面の人々がいろいろの研究発表され著々として田代村から貧乏は追放されつゝありすが、私はこれを統計的に研究して見ました。

次のグラフは日本全国の産業の種類別に一人当りの生産力と申しますか一人当りの所得額をグラフ化したものです。これで見ますと有業人口(実際に仕事を持つて働いている人)一人当りの所得は農業業では一万五千円、工業では四万八千円、商業では少し下つて四万五千四百円、全体の平均では二万七千五百円でありつゝ、つまり農業業では商工業の三分の一ぐらゐしか生産力(所得額)がないわけでありつゝ。

田代村は昭和の始頃より昭和十六年頃迄の間人口は世帯数一〇五八、人口一五二〇(平均)となつて居ります。この一五二〇人の人口の内有業人口は二四三二人であり、この有業人口の内農業人口は二五九人、残りの二七三人は他の商工業及その他の産業に従事して居るのであります。それが現在では総人口七〇〇〇人余の内有業人口は三三八〇人(残りは老人、小供、学生等)この内農業従事者は二八七六人でありつゝ昭和の十五、六年頃より七、八人程多いことになりつゝ、これを世帯数に比べると二七五世帯多く家族を含めると一三三四人多いことになりつゝ、次に田代村の農業人口は明治の中期より終戦前まで大体二一〇〇人位でやつて来て居りましてこれから増加した人口は他の産業へ働いて居るのであります。この人口が田代村の農

業人口の基礎となる人口でこれ以上人口を注ぎ込む事の出来ない飽和の状態にあつたのに終戦後急速に増加せる人口九二四人(有業人口)中より農業に七八〇人も吸収したのであります。故に現在ではその昔四人で働いて居た農業に五人乃至六人でやつて居る程であります。農業技術は日々改良され新しい肥料はきん／＼出来て農業人口は不要になつてくるにもかゝりわが斯様に農業人口に無理矢理に人口を注ぎ込んで再び耕作する等、しかし終戦前より田代村の耕地はそう廣くなくなつて居り反収も上つて居りません。終戦前二〇〇俵位の米を売り出したのに現在では反対に二〇〇〇俵位の米を購買して居るのであります。これは勿論人口の増加によるのであります。反面反収は減少して居るのであります。この終戦後増加した農業人口七八〇人二七五世帯を田代村の農業人口より除外して他の産業に向けるか、或は村外に出稼に出すかしなければ田代村は貧乏の沼から足を抜く事は出来なかつたことになりつゝ、が、さて現在田代村には勿論右の人口を(三三頁へつづく)

田代村農業協同組合  
組合長 平川 正明  
参事 原 順

田代村商業協同組合  
理事長 平石 誠造  
外職員 一 同

田代村煙草耕作組合  
組合長 上田 政吉  
外職員 一 同

田代村森林組合  
組合長 小牧 昌男  
外職員 一 同

大原郵便局  
局長 野田 静男  
外職員 一 同

### 昭和27年度村税納期一覽表

月別	税目	納期
一月	固定資産税	(二期)
二月	自轉車税	(二期)
三月	村定資産税	(二期)
四月	村定資産税	(二期)
五月	村定資産税	(二期)
六月	村定資産税	(二期)
七月	村定資産税	(二期)
八月	村定資産税	(二期)
九月	村定資産税	(二期)
十月	村定資産税	(二期)
十一月	村定資産税	(二期)
十二月	村定資産税	(二期)
一月	村定資産税	(二期)
二月	村定資産税	(二期)
三月	村定資産税	(二期)
四月	村定資産税	(二期)
五月	村定資産税	(二期)
六月	村定資産税	(二期)
七月	村定資産税	(二期)
八月	村定資産税	(二期)
九月	村定資産税	(二期)
十月	村定資産税	(二期)
十一月	村定資産税	(二期)
十二月	村定資産税	(二期)
一月	村定資産税	(二期)
二月	村定資産税	(二期)
三月	村定資産税	(二期)
四月	村定資産税	(二期)
五月	村定資産税	(二期)
六月	村定資産税	(二期)
七月	村定資産税	(二期)
八月	村定資産税	(二期)
九月	村定資産税	(二期)
十月	村定資産税	(二期)
十一月	村定資産税	(二期)
十二月	村定資産税	(二期)
一月	村定資産税	(二期)
二月	村定資産税	(二期)
三月	村定資産税	(二期)
四月	村定資産税	(二期)
五月	村定資産税	(二期)
六月	村定資産税	(二期)
七月	村定資産税	(二期)
八月	村定資産税	(二期)
九月	村定資産税	(二期)
十月	村定資産税	(二期)
十一月	村定資産税	(二期)
十二月	村定資産税	(二期)
一月	村定資産税	(二期)
二月	村定資産税	(二期)
三月	村定資産税	(二期)
四月	村定資産税	(二期)
五月	村定資産税	(二期)
六月	村定資産税	(二期)
七月	村定資産税	(二期)
八月	村定資産税	(二期)
九月	村定資産税	(二期)
十月	村定資産税	(二期)
十一月	村定資産税	(二期)
十二月	村定資産税	(二期)
一月	村定資産税	(二期)
二月	村定資産税	(二期)
三月	村定資産税	(二期)
四月	村定資産税	(二期)
五月	村定資産税	(二期)
六月	村定資産税	(二期)
七月	村定資産税	(二期)
八月	村定資産税	(二期)
九月	村定資産税	(二期)
十月	村定資産税	(二期)
十一月	村定資産税	(二期)
十二月	村定資産税	(二期)
一月	村定資産税	(二期)
二月	村定資産税	(二期)
三月	村定資産税	(二期)
四月	村定資産税	(二期)
五月	村定資産税	(二期)
六月	村定資産税	(二期)
七月	村定資産税	(二期)
八月	村定資産税	(二期)
九月	村定資産税	(二期)
十月	村定資産税	(二期)
十一月	村定資産税	(二期)
十二月	村定資産税	(二期)
一月	村定資産税	(二期)
二月	村定資産税	(二期)
三月	村定資産税	(二期)
四月	村定資産税	(二期)
五月	村定資産税	(二期)
六月	村定資産税	(二期)
七月	村定資産税	(二期)
八月	村定資産税	(二期)
九月	村定資産税	(二期)
十月	村定資産税	(二期)
十一月	村定資産税	(二期)
十二月	村定資産税	(二期)
一月	村定資産税	(二期)
二月	村定資産税	(二期)
三月	村定資産税	(二期)
四月	村定資産税	(二期)
五月	村定資産税	(二期)
六月	村定資産税	(二期)
七月	村定資産税	(二期)
八月	村定資産税	(二期)
九月	村定資産税	(二期)
十月	村定資産税	(二期)
十一月	村定資産税	(二期)
十二月	村定資産税	(二期)
一月	村定資産税	(二期)
二月	村定資産税	(二期)
三月	村定資産税	(二期)
四月	村定資産税	(二期)
五月	村定資産税	(二期)
六月	村定資産税	(二期)
七月	村定資産税	(二期)
八月	村定資産税	(二期)
九月	村定資産税	(二期)
十月	村定資産税	(二期)
十一月	村定資産税	(二期)
十二月	村定資産税	(二期)
一月	村定資産税	(二期)
二月	村定資産税	(二期)
三月	村定資産税	(二期)
四月	村定資産税	(二期)
五月	村定資産税	(二期)
六月	村定資産税	(二期)
七月	村定資産税	(二期)
八月	村定資産税	(二期)
九月	村定資産税	(二期)
十月	村定資産税	(二期)
十一月	村定資産税	(二期)
十二月	村定資産税	(二期)
一月	村定資産税	(二期)
二月	村定資産税	(二期)
三月	村定資産税	(二期)
四月	村定資産税	(二期)
五月	村定資産税	(二期)
六月	村定資産税	(二期)
七月	村定資産税	(二期)
八月	村定資産税	(二期)
九月	村定資産税	(二期)
十月	村定資産税	(二期)
十一月	村定資産税	(二期)
十二月	村定資産税	(二期)
一月	村定資産税	(二期)
二月	村定資産税	(二期)
三月	村定資産税	(二期)
四月	村定資産税	(二期)
五月	村定資産税	(二期)
六月	村定資産税	(二期)
七月	村定資産税	(二期)
八月	村定資産税	(二期)
九月	村定資産税	(二期)
十月	村定資産税	(二期)
十一月	村定資産税	(二期)
十二月	村定資産税	(二期)
一月	村定資産税	(二期)
二月	村定資産税	(二期)
三月	村定資産税	(二期)
四月	村定資産税	(二期)
五月	村定資産税	(二期)
六月	村定資産税	(二期)
七月	村定資産税	(二期)
八月	村定資産税	(二期)
九月	村定資産税	(二期)
十月	村定資産税	(二期)
十一月	村定資産税	(二期)
十二月	村定資産税	(二期)
一月	村定資産税	(二期)
二月	村定資産税	(二期)
三月	村定資産税	(二期)
四月	村定資産税	(二期)
五月	村定資産税	(二期)
六月	村定資産税	(二期)
七月	村定資産税	(二期)
八月	村定資産税	(二期)
九月	村定資産税	(二期)
十月	村定資産税	(二期)
十一月	村定資産税	(二期)
十二月	村定資産税	(二期)
一月	村定資産税	(二期)
二月	村定資産税	(二期)
三月	村定資産税	(二期)
四月	村定資産税	(二期)
五月	村定資産税	(二期)
六月	村定資産税	(二期)
七月	村定資産税	(二期)
八月	村定資産税	(二期)
九月	村定資産税	(二期)
十月	村定資産税	(二期)
十一月	村定資産税	(二期)
十二月	村定資産税	(二期)
一月	村定資産税	(二期)
二月	村定資産税	(二期)
三月	村定資産税	(二期)
四月	村定資産税	(二期)
五月	村定資産税	(二期)
六月	村定資産税	(二期)
七月	村定資産税	(二期)
八月	村定資産税	(二期)
九月	村定資産税	(二期)
十月	村定資産税	(二期)
十一月	村定資産税	(二期)
十二月	村定資産税	(二期)
一月	村定資産税	(二期)
二月	村定資産税	(二期)
三月	村定資産税	(二期)
四月	村定資産税	(二期)
五月	村定資産税	(二期)
六月	村定資産税	(二期)
七月	村定資産税	(二期)
八月	村定資産税	(二期)
九月	村定資産税	(二期)
十月	村定資産税	(二期)
十一月	村定資産税	(二期)
十二月	村定資産税	(二期)
一月	村定資産税	(二期)
二月	村定資産税	(二期)
三月	村定資産税	(二期)
四月	村定資産税	(二期)
五月	村定資産税	(二期)
六月	村定資産税	(二期)
七月	村定資産税	(二期)
八月	村定資産税	(二期)
九月	村定資産税	(二期)
十月	村定資産税	(二期)
十一月	村定資産税	(二期)
十二月	村定資産税	(二期)
一月	村定資産税	(二期)
二月	村定資産税	(二期)
三月	村定資産税	(二期)
四月	村定資産税	(二期)
五月	村定資産税	(二期)
六月	村定資産税	(二期)
七月	村定資産税	(二期)
八月	村定資産税	(二期)
九月	村定資産税	(二期)
十月	村定資産税	(二期)
十一月	村定資産税	(二期)
十二月	村定資産税	(二期)
一月	村定資産税	(二期)
二月	村定資産税	(二期)
三月	村定資産税	(二期)
四月	村定資産税	(二期)
五月	村定資産税	(二期)
六月	村定資産税	(二期)
七月	村定資産税	(二期)
八月	村定資産税	(二期)
九月	村定資産税	(二期)
十月	村定資産税	(二期)
十一月	村定資産税	(二期)
十二月	村定資産税	(二期)
一月	村定資産税	(二期)
二月	村定資産税	(二期)
三月	村定資産税	(二期)
四月	村定資産税	(二期)
五月	村定資産税	(二期)
六月	村定資産税	(二期)
七月	村定資産税	(二期)
八月	村定資産税	(二期)
九月	村定資産税	(二期)
十月	村定資産税	(二期)
十一月	村定資産税	(二期)
十二月	村定資産税	(二期)
一月	村定資産税	(二期)
二月	村定資産税	(二期)
三月	村定資産税	(二期)
四月	村定資産税	(二期)
五月	村定資産税	(二期)
六月	村定資産税	(二期)
七月	村定資産税	(二期)
八月	村定資産税	(二期)
九月	村定資産税	(二期)
十月	村定資産税	(二期)
十一月	村定資産税	(二期)
十二月	村定資産税	(二期)
一月	村定資産税	(二期)
二月	村定資産税	(二期)
三月	村定資産税	(二期)
四月	村定資産税	(二期)
五月	村定資産税	(二期)
六月	村定資産税	(二期)
七月	村定資産税	(二期)
八月	村定資産税	(二期)
九月	村定資産税	(二期)
十月	村定資産税	(二期)
十一月	村定資産税	(二期)
十二月	村定資産税	(二期)
一月	村定資産税	(二期)
二月	村定資産税	(二期)
三月	村定資産税	(二期)
四月	村定資産税	(二期)
五月	村定資産税	(二期)
六月	村定資産税	(二期)
七月	村定資産税	(二期)
八月	村定資産税	(二期)
九月	村定資産税	(二期)
十月	村定資産税	(二期)
十一月	村定資産税	(二期)
十二月	村定資産税	(二期)
一月	村定資産税	(二期)
二月	村定資産税	(二期)
三月	村定資産税	(二期)
四月	村定資産税	(二期)
五月	村定資産税	(二期)
六月	村定資産税	(二期)
七月	村定資産税	(二期)
八月	村定資産税	(二期)
九月	村定資産税	(二期)
十月	村定資産税	(二期)
十一月	村定資産税	(二期)
十二月	村定資産税	(二期)
一月	村定資産税	(二期)
二月	村定資産税	(二期)
三月	村定資産税	(二期)
四月	村定資産税	(二期)
五月	村定資産税	(二期)
六月	村定資産税	(二期)
七月	村定資産税	(二期)
八月	村定資産税	(二期)
九月	村定資産税	(二期)
十月	村定資産税	(二期)
十一月	村定資産税	(二期)
十二月	村定資産税	(二期)
一月	村定資産税	(二期)
二月	村定資産税	(二期)
三月	村定資産税	(二期)
四月	村定資産税	(二期)
五月	村定資産税	(二期)
六月	村定資産税	(二期)
七月	村定資産税	(二期)
八月	村定資産税	(二期)
九月	村定資産税	(二期)
十月	村定資産税	(二期)
十一月	村定資産税	(二期)
十二月	村定資産税	(二期)
一月	村定資産税	(二期)
二月	村定資産税	(二期)
三月	村定資産税	(二期)
四月	村定資産税	(二期)
五月	村定資産税	(二期)
六月	村定資産税	(二期)

納税は準備貯蓄で樂に出來

# 平和な村づくりの礎

## 公民館活動

### 四、公民館の事業

旧年度はまがりなりにも田代村公民館が設置され、皆様方の御協力を得て、公民館設置の趣旨目的、公民館運営上の方針、公民館の編成及び設備等の初歩的な事から学んで参りました。い

わば活動準備の期間でありました。今年度こそは乏しい乍らも其の間に学んだ知識に頼り、事業面で活動促進を図らなければならぬ年だと思存します

ので、年頭に当り、田代村公民館の事業計画を樹て皆様方の御批判御指導を得て修正を加え完全なものとして、此の計画に従つて、よりよき公民館の活動を推進したいと念する次第であります。

公民館事業活動の方法は地域社会の性格によつて異なるのであり、必ずしも劃一的にする必要のないことは前号に申述べた通りであります。社会教育法の中に公民館事業の大綱を規定してありますので、御参考までに其の關係条文を抜擢し、次に田代村公民館事業計画の概要を申述べさせていただきます。

### 社会教育法

第二十条 公民館は市町村その他一定区域内の住民のために、実生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もつて住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。

第二十二条 公民館は第二十条の目的達成のために、おむね左の事業を行う。但しこの法律及び他の法令によつて禁じられたものは、この限りでない。

- 一、定期講座を開講すること。
- 二、討論会、講習会、講演会、実習会、展示会等を開催すること。

先ず公民館の趣旨徹底啓蒙を図り、逐次広義な弘報活動に移る。

1. 将来は此の部を発展的に改組し、独立した図書部を設ける。

2. 教育 養部 教育養部は特に青年婦人層の教育に重点を置き、常時青年学級、婦人学級を開講する。

3. 青年学級では社会道徳に関する教育、産業指導の基礎となるべき科学教育、時事問題其他他公民常識の養成につとめる。

4. 婦人学級では社会道徳に関する教育、家庭生活の科学化に必要な教育、時事問題、公民常識、家政、育児、家庭衛生、裁縫等に関する教育を行う。

5. 村民の社会人としての相互啓蒙のために、研究会、討論会、懇親会等を開催すること共に、健全なる娯樂を与え村民の情操純化を図る。

6. 産業部 村の産業五ヶ年計画にマッチして、豊かで平和な村づくりを推進する為には此の部の活動が最も必要なのであります。今日迄殆んそ実質的な活動を致して居りません。

7. 将来は逐次部組織を強化し、左記事業内容を中必に積極的な活動を展開しなければなりません。

8. 村民に対する科学的指導を担当しこれに必要な各種器具機械による実物指導を行うと共に、一般村民の用に供すること。

9. 産業指導の為必要ある場合は、各種の副業設備を設けて利用に供すること。

10. 村民生活の科学化、合理化のため必要な指導をなす。

## 第二回追加予算定る

### 総額二二、〇九八、一三二一円

昭和二十六年の当初予算は首長及び議員の改選期であつたため相当控目に計上され、一種の暫定予算云々云々べき性質のもので、総額一〇、九九〇、五五八円であつたがその後産業経済費、土木費等の事業費に四、六七二、〇〇九円を追加し、更に今回二、〇九八、一三二一円を追加、現在総予算額は実に二七、七六〇、六九九円云々村始つて以来の最大な予算となつております。

今回予算は田代中学校の増築費、定時制高等学校の改築費及び災害土木復旧費、ルース台風災害対策費等が主なるもので、中学校は普通教室三、宿直室、便所等合計一七坪、高等学校は普通教室三、特別教室三、便所二棟合計一八二坪を建設する計画であり、その他教育費はルース台風災害復旧費、過年度災害復旧費となつて居り、土木費においては、大隅横断線を結ぶ田代船間線の一端奥地林道に結ぶ新田内ノ收線の改良工事及び労働施設費において災害公営住宅二〇棟を建設する外、一般罹災者への見舞金等今回ルース災害の対策費が多額に盛り込まれて居り、その

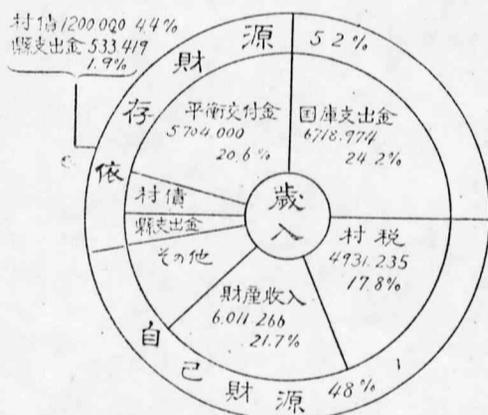
(二頁より) 吸収してこれ他の産業もない。又出稼もそう急々にこの一千人以上の人口を呼んでくれません。されば当分此の農業人口で暮しを立て行くにすれば農業経営に一大改良を加えて所得額の低い農業を所得額の高い農業に切替えるより方法はありませぬ。

そこで村も産業振興五ヶ年計画を樹立して産業の振興を計つております。農村の工業化、商業化、即ち茶葉の振興に依る茶工業の発達、林業の開拓に依る林業の商工業化、畜産の奨励による土地を利用しない農業、その他農作物の増収によりこれを商品化(加工品)して村外に輸出する等一般農業の商工業化、年々一歩々々土地にかじりついた農業より土地を離れた農業へ進歩を涉つております。

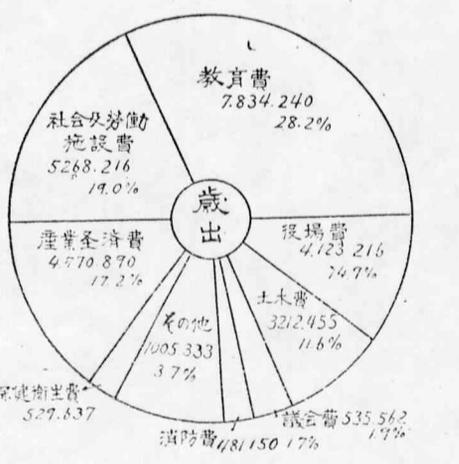
皆さんお互いに今年こそは頭の先から尻尾の先まで地について砂を食べて働いているみ、すの様な農業経営から脱却し、地から一寸でも離れたハイヒールをはいた農業経営へ切替えましょう(統計係)

## 昭和26年度 田代村歳入歳出予算

昭和26.12.10.現在 総額 27,760,699圓



使用料及手数料 (Fees and Charges)	82,030	0.3%
附入金 (Attached Income)	1,257,355	4.5%
寄附金 (Donations)	534,562	1.9%
雑収 (Miscellaneous Income)	787,858	2.7%



# 産業五ヶ年計画 (其の十)

## (五の六) 農業経営の改善

現在本村農産で合理的経営をなし婦人は農繁期以外に農場に出る必要はなく主人は毎晩焼酎一合位に魚の塩漬か豆腐の二丁でも晩釣出来て毎年少し宛非常用の貯金が出る農家が幾人あるであらうか。

今後の本村農家の経営は何に主力を注ぐ可か、個々の農家に依つて違つて一般的に検討して見る事にする。

### 一、農業経営の實状

本村農家の経済状態を経営の面から観察して見るに上流家庭では水田本位の農業経営で少しの供出をなし他に事業をするが林産物其の他の資産を売つて生活しているのが通常である。

中流家庭では田畑共に自家食糧を賄う程度の主食本位の農業経営で、現金収入は少しの甘藷代金か時偶生産される仔牛代金位で、煙草を作つている農家其の他換金作物を栽培する農家は良い方で、災害の年には自家食糧さえ不足し換金作物其の他に支障があれば肥料代其の他は借金となり、生活費は賃労働に依らなければならぬ。賃労働に出る事に依つて次期の農作物は疎になる農家が通常である。

経営面積の少ない農家は賃労働を主として農業は時期外の作付管理をなし従つて其の生産量は微々たるもので経済的に余裕のある農家は少ない。

以上を要約するならば上流家庭は財産を売つて喰い、中流家庭は食糧を生産して、肥料代金其の他農業資金及生活費は賃労働で賄い、経営面積の少ない農家は賃労働本位の農業経営で、総べて昔年進歩のない発展素質のない農業経営であり誠に危険な経済状態である。

### 二、農業経営の合理化

我々は農業経営の改善を計り、一日も早く此の危険状態から脱脚しなければならぬ。

### イ、農業経営型態

農業経営型態を主食本位の農業経営と労働本位の農業経営、換金作物本位の農業経営、畜産本位の農業経営の四種に分けて検討して見る事にする。

(一) 主要食糧本位の農業経営  
現在の本村農家の大部分の農業経営であり水稲、陸稻、甘藷、大豆、粟、蕎麥、麦等を栽培し耕地面積の広い人も以上の作物を主として自家食糧を取つて余分を販売して農業資金、生活費等に振向ける経営で、戦時及終戦直後此の型態の農業経営が必要で然かも最も良い経営であつたのである。

将来は此の種の農業経営には行詰りを生ずるに考へられるのである。其の理由としては日本経済は世界経済の一環をなしている事である。戦前戦中は日本政府の保護政策に依つて日本の農業は外国の経済に左右される事は少なかつたのであるが、今後の日本農業は斯くの如き保護政策に考へられない世界食糧事情は近き将来生産過剰の時代が来る事である。又主要食糧本位の農業経営は台風、旱魃其の他災害を被つた場合の打撃が大きい、六月は麦、菜種の収穫、田植、甘藷植、陸稻植等十一月は水陸稻の収穫、甘藷の収穫、粟、そばの収穫、麦菜種の作付等で一時に仕事が多く農作業は思ふ通り実行出来ず收穫に支障を來す等障害が多いので主要食糧は自家食糧を賄う程度で經營にして現在より反收の増加を計り畜産其の他換金作物に重点を置かなければならぬ。

### (二) 労働本位の農業経営

此処で云う労働本位は広い範圍の労働者で日雇、月給取、製炭の歩焼、常雇、其の他の者で農業も大なり小なり営む者の事である。本村には此の種の労働者本位の農業経営をする者が非常に多い。労働者を主として農業経営を従事すればいやはが応でも農作業は次になり適期に作付管理は出来ず然かも不十分

で收穫は少なく地力は減退するし労働の良い時は自然衣食に費し貯蓄心が薄い様である。又其の反面長雨で労働者に行けない時か若し其の労働者の健康に一朝事ある場合は其の家族の明日の食糧に困らなければならぬのである。日雇は明日の食糧を働き月給取りは翌月の食糧を働き農業は翌年の食糧を働かざるならぬ農業は最も大きな仕事であり安全な仕事である。

労働本位の農業は一日も早く止めて農業経営を主として労働者を副業に切替へて行かなければならぬ。斯く理論はわかつても実行は中々困難であるが其の人の研究心と努力に依つて解決するものである。

個々の指導については紙面が許さないので各人の訴えがあれば筆者は充分話相手をするつもりである。

### (三) 換金作物本位の農業経営

水田はさて置いて畑作に就いて述べる事にする。  
今後の畑作は何か良いか悪いかは一概に言えないが、反当りの生産額の最も高い安全度の高いとして集約度の高い作物を栽培する様研究しなければならぬ。例えば茶葉は災害関係には強い作物で一反歩を経営して充分肥培管理するならば年間生葉生産で十萬円を獲得することは容易である。農業経営面積が少ない水田を持つていないから農業では喰つて行けないといふ事は絶対にないのである。水田を持つた自然も畑も少し持つて居る人は換金作物を栽培することを主として他に家庭工業をするか暇を見ては賃労働に行き様にしたならば立派な生活が出来るのである。

も本村の特徴を充分生じた換金作物を栽培し換金作物本位の農業経営に一日も早く切替へなければならぬ。換金作物の種類としては今述べて来た茶葉、林業、畜産、養蚕、ラミー、煙草、其の他各々の家庭人員、経営面積等に依つて違つて思ふ。

### (四) 畜産本位の農業経営

本村は畜産に最も適した村であるが今まで余り重要視されなかつた様である。単に農業経営の道具としての存在になつて居るのみで畜産業としての経営はなく、畜産本位の農業経営をなして居る者なく、仔牛の生産は副産物の型で尊ばれている程度である。養鶏にしても同じで自家用程度である。其の主な理由は何でしよう。余りに天然飼料に恵まれ飼料に対する関心が薄く、天然飼料のみを相手とするので年から年中毎日草刈りに野山に行かなければならぬので二頭分の草刈りをするに農作業に従事する暇はなく他の農作業に影響するので二頭三頭の牛馬の飼育は困難視されている。今後は飼料対策としてサイロを設置し、春はれんげ草、えんじょう等をエンシレージとして踏込み貯蔵し、秋は甘藷蔓、大根、其の他の残菜を踏込み、春二日位秋二日位の踏込みで夏には干草を刈り貯蔵するならば一年間草刈りして他の農作業に差支えなく二、三頭の大畜畜が飼育出来るのである。中小家畜としては山羊、綿羊、豚等でもすべてエンシレージ及干草等で飼育出来、豚もエンシレージ及澱粉粕、残菜等で飼育出来るので、鶏にしても五〇羽位飼養し、山羊乳等を給するに産卵率も良く朝夕の小使取りにも良い仕事である。

有利である。

### ロ、農業経営の多角化

本村の現在の農業経営の如く主食本位の農業経営は総生産額が低い上に世界経済に連なる日本経済の現在国際情勢の変転により価格の激変も予想しなければならぬ。病虫害の問題、災害問題等色々な自然の敵が多いので勿論主要食糧は栽培するも畑作は成る可く多種多様の換金作物を折込み、又畜産も多角化して多角経営にして進むことが最も堅実である。

農業経営を多角化して行く上に於て注意しなければならぬ点をあげれば  
(一) 労力の配分  
従来の農業経営の如く六月、十一月は最も忙しく又或る時期は暇が多過ぎる事のない様、一例を取るならばシユロ栽培の如く殆ど手は入らず農閑期を利用して收穫し、加工するもの、茶の如く五月、七月、八月の收穫で六月は避けられるもの等其の他農閑期を利用して得る様計画しなければならぬ。

(二) 現金収入面から見た経営  
肥料代、農機具代、其の他農業資金向の現金収入は供出代金か仔牛代金、其の他換金作物中纏つた収入を得る様計画し、日常の生活費、各家庭で婦人の使ひ金は月々又は毎日収入がある様経営計画を樹てる事が必要である。例えば養鶏を五〇羽飼育し毎日良い飼料を給して卵を毎日三〇個産むとすれば一個八円平均で見ても毎日二四〇円の収入がある事になる。シユロ本植えて毎月千枚のシユロ皮を收穫するに一枚三円と見ても一日一〇〇円の収入三倍になる。其の他養蚕、蔬菜栽培等よりの現金収入を計り之を以て生活費に充てる様農業経営計画を樹てなければならぬ。

以上述べた如く各々の農家に適当した合理的農業経営計画、即ち我が家の農業五ヶ年計画を一日も早く樹立し、現在の経済状態を立て直さなければならぬ。

### 田代高校主催 十二月十五日 農産物品評会

白	特等川路美
大	一等岩下
人	一等中野忠
茶	特等山野秀
シユロ皮	一等藤崎利
ラミー	一等松崎充
みかん	一等門前ス
工作品	一等倉元幸
家庭菜園	一等茅野ス
	一等水流知
	一等宮前利
	一等舞原健
	一等川前キ

### 編集後記

講和条約の批准は成つたが、世界の状況はより深刻化し、日本の立場は愈々複雑な様相を呈して來た。此の機に臨んで日共は愛さるべき平和闘争を約束して、武力抗争を高言するに至つて居り、休戦会談をめぐる共産軍の態度も附におちない。対内的に、対外的に今年度も亦速しい年らしい。  
◎何時迄も屠蘇の酒に酔いしれていては一年の計も樹たない。一里の平道も苦にした此の脚も、出発前の準備が良ければ天下の難路も踏破する健脚になる。一年の計は元旦にあり、心の準備も元旦にありか。  
◎禍を転じて福となす。これは通り一べんの飾り文句ではない。先人が活きた体験から割り出した言葉である。二十七年度こそは人事を尽して禍を転じたいものだ。  
◎編集子の不手際の為に、コミニケーションの役を真に演じきれないことを相済まなく思います。今月号からよつほぎ編集の方法を替へたいと思ひ乍ら、印刷者の都合や経費の關係を慮つて断を下しかね、出来上りはやつぱり微々さいものでしかありません。今後皆様方の御批判御支援を得て改善したいと存じます。

納税で道路や橋や学校も立派になつたぞよい田代